

Amir Tsarfati 氏 中東時事アップデート 2018年12月23日公開
トランプ大統領シリア撤退を決断、マティス国防長官退任発表
(日本時間12月24日午前2:25～イスラエル時間12月23日午後7:25～)

皆さん、シャローム。アミール・ツアルファティです。
イスラエルの第3都市ハイファより、ユーチューブでライブを行なっています。
人口30万人の美しい都市で、ここの最も有名な所は、後ろの、バハーイー教聖地群です。
今は夜なので、見えにくいですが、日中は非常に美しい庭園です。
カルメル山の頂上から、はるばる地中海に向けて広がります。それが、私の頭上に見えています。
それから私達は今、素晴らしい場所に居ます。Ebenezer ホームの屋上です。
ここはイエスを信じる人達の老人ホームで、ユダヤ人、アラブ人、ユダヤ人以外の人達が共に暮らすのは、この国では、私の知る限り、ここが唯一です。
とても素晴らしい場所で、素晴らしい人達が、約30人ここで暮らしています。
共通点は、ある年齢を超えているだけでなく、皆が、イエスを愛しています。
そして全員が、イエスを彼らの個人的な主であり、救い主として信じています。
私達はイスラエルのハイファにいて、ここでは、キリストの福音を恥じません。私は、それをとても誇りに
思います。ではお祈りをしてから、トランプ大統領によるシリア撤退の決断の背景について、スペシャルア
ップデートを行いましょ。

お父様。感謝します。
あなたは神であられ、愛するあなたの子どもたちに、あなたのご計画を隠されません。
お父様。あなたのご計画は、あなたの預言者たちの言葉を通して、常に私たちに示されています。
あなたは、アモス書3章で言われました。

7 まことに、神である主は、そのはかりごとを、ご自分のしもべ、預言者たちに示さないでは、何事もなさない。

(アモス 3:7)

お父様。感謝します。あなたは、預言者イザヤを通して言われました。

9 …わたしが神である。ほかにはいない。わたしのような神はいない。
10 わたしは、終わりの事を初めから告げ、まだなされていない事を昔から告げ、
『わたしのはかりごとは成就し、わたしの望む事をすべて成し遂げる。』と言う。

(イザヤ 46:9-10)

ですからお父様。この混沌とした世も、あなたが完全に支配しておられることを、私たちが理解出来るよう、
助けてください。人々は、あなたを知らないかも知れません。人々は、自分たちが利口だと考えているかも知
れません。しかしあなたは、全てをご存知で、あなたは、あなたの子どもたちが、あなたの御言葉の中に
安らぎと慰め、あなたの約束を見つけることを願っておられます。

あなたに感謝し、あなたの御名を祝福します。
イスラエルの地、ハイファより、イエスの御名によって。アーメン。

アーメン。

皆さん、シャローム。
数日前、アメリカ軍をシリアから撤退させるという、トランプ大統領の決断を聞いて、世界中が衝撃を受け
ました。私は、ワシントンからその噂を聞いたとき、フェイスブックでライブを行い、それが終わった直後
に、トランプ大統領が、ツイッターに投稿しました。

「我々のシリアでの仕事は終わった。ISISは敗北し、それが、我々があそこにいた唯一の理由だったの
だ。」

もちろん、私は預言者ではありませんし、私たちには、あちらに情報源がありますから、何が起るかを、すでに知っていました。

トランプ大統領とトルコのエルドアン大統領との間で、非常に興味深い、電話での会話があったことが分かっています。それによって、この決断に至りました。後ほど、それについてもお話ししますが、皆さん、一つ、非常に重要なことを理解しておいてください。世界では、ある特定の事が起こっていて、それらが起こる中でこれらの決断を下す人たちは、彼らの国民にとって、その時点ではそれがベストの決断であると見ているのです。

それともう一つ、理解しておいてください。アメリカはイスラエルを愛し、支援してくれているでしょうし、トランプ大統領は、おそらく史上最も親イスラエル派の大統領でしょう。

しかし、皆さん、理解しなければなりません。彼は、故意にイスラエルを傷つけたり、損^{そこ}なうことを行^{おこな}っているわけではありません。むしろ、後^{のち}ほどお話ししますが、シリア撤退の決断によって、イスラエルはもっと自由にイランの脅威に対応出来るのです。アメリカも、もっと自由に対処出来るのです。念のために言うておきますと、2001年9月11日以来初めて、アメリカの空母がペルシャ湾に配備されました。少なくともこの17年間で、これは前代未聞です。



空母ジョン・C・ステニス

それから、2つの法案が今日、通過しました。

トランプ大統領が、ヒズボラとハマスとの戦いにおいて、非常に大きな役割を果たす、2つの法案に調印しました。つまり人間を盾に使う全ての組織に対するボイコット、および制裁です。

これはもちろん、直接ハマスとヒズボラに向けたものです。

ヒズボラは、イスラエルを滅ぼしたり攻撃するために、民家を使^{おこな}ってトンネルを掘って、ロケットを隠していますから。そしてハマスは、同じ事を行^{おこな}い、民間人の住む地域から、ロケットを発射しています。ですからトランプ大統領は、シリアから軍隊を撤退するのと並行して、2001年以降、大統領が誰も行^{おこな}わなかったことを実行しているのです。皆さん、理解しなければなりません。この全貌に計算された動きがあるのです。

では、2014年にさかのぼりましょう。バラク・フセイン・オバマ大統領は、ISISが、恐れや暴力行為、無秩序を中東全体に植え付けていることを理解していました。そしてオバマ大統領は——彼は、多くの軍隊を現地に派遣出来ないことを理解していて、少人数の特殊部隊、およそ2000人の相談役をシリア東部に派遣しました。彼は、自由シリア軍の“民主軍隊”を助ける為に、彼らを派遣しました。その名前に、真実は一切ありません。シリアは民主主義ではありませんし、全く自由でもありません。軍隊というより、民兵です。ただ彼は、彼らを派遣したのは基本的には、クルド人と彼らの味方を集めてISISと戦わせるためでした。アメリカが戦う代わりに、彼らは、クルド人がISISと戦えるように、訓練や指導をするはずでした。アメリカに与えられた特権や権限は、イランにも、ヒズボラにも、他のどのシーア派の民兵に対しても、一切何も出来ません。ただ、ISISという名のスンニ派のテロ組織と戦うだけです。皆さんがこれを理解しておくことは、非常に重要です。なぜならアメリカは、決して、イランを止めるためにシリアにいるのではなく、イスラエルのために働く目的でシリアにいるのでもありません。

この3年間、イスラエルが、イランの地位確立に対応する時、——イスラエルは、アメリカを必要としませんでしたし、アメリカに助けを求めたこともありません。また、アメリカがイスラエルのために何かをしたこともありません。皆さん、物事を正しい視点で見なければなりません。

2000名の相談役だけです。もちろん、軍事装備も、軍事顧問も現地にあります。しかし、皆さん、理解しなければなりません。彼らの仕事は、ISISと戦う一つの軍隊をまとめることだけです。ISISは、完全に敗北したわけではありません。

しかし、ここからが要点です。皆さん、よく注意して聞いてください。オバマ大統領が、アメリカの相談役をシリアに派遣した時、彼は、2つのことを達成するためにそれを行いました。

① 1つは ISIS と戦うため。

② もう1つは、シーア派、イランの民兵が、基本的には、あの ISIS の領域を占領するのを助けるためです。

基本的にあれば、「反スンニ/親シーア政策」でした。

次に、皆さん、忘れてはいけません。

イラン協議を撤退したのはトランプ大統領で、イランに制裁を課したのもトランプ大統領。

トランプ大統領は、イランの攻撃性、イランの地位確立、イランの欺きと戦うことが全てです。

しかしながら彼は、彼自身の国防長官マティス国防長官の、

「ISISとの戦いでは、シーア派と協力しなければならない」

というコンセプトに、縛られていたのです。

トランプ大統領は、それが気に入りませんでした。彼は、ずっとそれが嫌でした。

彼は、全く理解できませんでした。

「私は国際舞台でイランと戦い、核協議でイランと戦っているのに、それが ISIS に関しては、彼らと彼らの民兵に、私が協力しなければならないとは、どういう事だ？」と。

だから彼はずっと、ここから抜け出す道を探していましたが、出来ませんでした。

エルドアン大統領が、世界に向けて次のように言い始めるまでは。

「私は、クルドのやり方には、我慢ならない。私は、何がなんでもクルドと戦う。」

トランプ大統領は、電話での会談を設定して、エルドアンと話すべき要点と、エルドアンに命じるべき行動を、全て列挙しました。

それが興味深いことに、エルドアン大統領が、トランプ大統領に言いました。

「そもそも、なぜ、あなたはあそこにいるのですか？あなたは、イランに敵対しているのではなかったか？あなたは、協議に反対していなかったか？あなたは、彼らのしていることに反対ではなかったか？どうして、あなたは、未だにあそこにいる、彼らと戦う代わりに、彼らを助けているんだ？」

そこでトランプ大統領は、少し止まって、国家安全保障担当補佐官ジョン・ボルトンに聞きました。

「なぜ、我々はまだあそこにいるのだ？ISISはもう、ほぼ敗北しているのではなかったか？」

すると、ジョン・ボルトンが言います。

「はい。大統領。ISISは、ほぼ敗北しています。」

そこへ、エルドアン大統領が言いました。

「私が、あなたに代わって、その仕事を終わらせましょう。あなたがあそこにいる必要はない。私に、あなたの代わりに仕事をさせてください。あなたは、あそこから撤退しても構いません。」

皆さん、理解してください。これは、約束ですよ。トランプ大統領の選挙公約です。

「軍隊を撤退させる。」選挙活動中、トランプ大統領は、ずっと言っていました。

「我々はずっと、何十億ドルと中東に費やしている。我々はずっと、あまりにも多くの兵士達の命を、中東で無駄にしてきた。その国々のほとんどが、我々を愛しませず、感謝もしない。もう、それは止めよう。」

ずっと、これが彼の選挙スローガンでした。

ですから、トランプ大統領が実行した政策に、誰も驚くべきではありません。

次に、皆さん、理解しなければなりません。

彼は、「我々は ISIS と戦わなければならない」というコンセプトの中に居る限り、兵士達を撤退させる事は出来ませんでした。

彼がこの協議に問題があることに気づいた時、彼はそこから抜ける道を求めました。そこへ直ちに、エルドアンが“はしご”を差し出したのです。

ところで、エルドアンも驚きましたが、同じく、トランプ大統領の顧問も全員が驚愕しました。

彼が、即座に「今がシリアから撤退する時だ」と決断しましたから。

さて、一つ、説明します。皆さんの多くが、クルド人達のことを非常に心配しているのは、分かっています。それから、ヨーロッパは ISIS のことを心配しているのも、分かっています。また、多くの人、メディアが、非常に心配しているのも知っています。また彼らは、イスラエルが非常に心配しているように見せかけます。

ただ、皆さん理解しなければなりません。ここからは、皆さんの多くが知らないことです。

トランプ大統領はこの数ヶ月の間で、公と機密、両方の情報源、アメリカの諜報から、さらに多くの伝達を受け取っていました。

そして彼は、クルド人達がこの数ヶ月の間に、実はバッシュール・アル・アサド政権と公式に繋がっていて、連絡を取り合っていたことに気付きました。

彼らは、実際に、バッシュール・アサドが彼らを統治することを望んでいて、彼らはすでに、アサドにガスと石油を売り始めていました。

そしてトランプは文字どおり、クルドとバッシュール、そしてシーア派が共に協力しあっているのを見たのです。言い換えると、ISIS と戦うように見せかけて、新しい同盟が出来ていたのです。

アメリカは、そのためにそこにいたのではありません。アメリカは、バッシュール・アサドを強くし、イランを強くし、他の者たちを裕福にするためにあそこにいたのではありません。

アメリカは、ISIS と戦うためにあそこにいたのです。

自分達は、ISIS と戦わず、実は、バッシュール・アル・アサドと商売をし、シーア派及び、イランの友となっていたことに気づいたとき、トランプ大統領は、自分がずっと騙されていた事に気付きました。他の多くの人達が、クルド人たちに騙されていたのと同様です。

皆さん、理解しておいてください。クルド人は、非常に勇敢な人達だと私は思います。

彼らだけが唯一、ISIS と戦っていたのですから。それは間違いありません。

ただクルドは常に、非常に分断されていて、彼らは、気づいていました。

ところで、皆さん、彼らの立場になれば、彼らは、自分達が、シリア、トルコ、イラン、イラクに囲まれている事を理解しています。そして彼らは、自分達が生き残るためにはアメリカに頼ることは出来ないことも、理解しています。彼らは、どうにかして地元の者たちと同盟を組まなければなりません。そして、明らかに ISIS は彼らの敵ですから、イランと同盟を組むか、バッシュール・アル・アサドと組む方が、まだマシなのです。

まさに、これに、トランプ大統領は気づいたのです。彼は、ずっと彼らに利用されていました。

彼は、クルド人達は、実際には一時的なもので、ある時点で、彼らは、シーア派の枢軸に加わるだろうと気付きました。

まさに、彼らがイラクでしたように。イラクで、彼らはそれをしました。

そして彼は、彼らに頼ることは賢明ではないと気づいたのです。

それからまた、皆さんが理解しなければならないのは、アメリカがあちらに置いていたのは、たった 2000 人の部隊、彼らは顧問で、特定の目的のための活動以上のことを行う能力はありません。

ところで、大きなものは 2 月に、600 人のロシアの傭兵 (Wagner PMC) が、ユーフラテス川東側の油田を占拠しようとして来た時で、彼らはそこで、アメリカの特殊部隊に殺されました。(書記注: 2018 年 2 月 14 日のアップデートを参照。)

ただ、皆さん、理解しておいてください。

トランプ大統領の決断は、純粋な“反イラン/反シーア”の決断です。彼は、自分はクルドに頼ることは出来ないと感じたのです。彼らの目的は、ここのISISが全てではないから。ISISは、後少しで完全敗北します。

次に、ヨーロッパはISISを恐れています。だから、ヨーロッパはトランプ大統領が撤退したことに、憤慨しています。ただ、トランプ大統領が、つい先ほどツイッターで投稿したのは、

「あなたがそれを求めるなら、あなたがたが自分たちで行って戦ったらどうだ？あなたがたが自分たちの兵士を送っていないのに、なぜアメリカがあちらで、あなたがたの戦争を戦わねばならないのだ？我々は、大きくて強く、世界を震撼させていた。ISISを打ち破った。今の時点で、ISISは非常に小さく、大した事はない。もちろん、彼らはまだ存在している。約5000人だ。

ところで、あなたがたが戦いたいなら、行って戦えばいい。自分たちがそれをしないなら、私に説教するな。エルドアンが行って戦うというなら、私はそれで構わない。」

これが、彼の言った事です。メディアは、それをひっくり返しますが。

ただ、勘違いしないでくださいよ？私は、アメリカがあそこにいることを喜んではいません。

ただ私は、トランプ大統領の立場を理解しています。事実、彼にとっては、これを行うのは一番利口な事で、またイスラエルにとっても、そこまで悪いことではありません。その理由を説明します。

今、アメリカは、イスラエルは、非常に心細い思いをしていると感じていて、今や、アメリカは、イランや北部のヒズボラに対する、イスラエルの軍事行為すべてにおいて、援護します。

そしてイランは今、警告を受け、ヒズボラも今、警告を受けています。ヒズボラと、レバノン政府に対する制裁は、すでに課されようとしています。

トランプ大統領は、レバノンに制裁を加える事が出来なかったのです。彼は、あのコンセプトに縛られていましたから。彼は、レバノンの軍隊を助けなければならなかったのです。ちなみにレバノン軍は、ほぼ完全にヒズボラの操り人形です。

それが今、彼は、もはやシリアにいる必要がなく、もはやシーア派に協力する必要がなく、もう、それが、彼には関係のないこととなれば、確実に彼は、ヒズボラに制裁を課す事が出来、彼は、確実に、継続してイランに圧力をかける事が出来るのです。

石油価格は、1バレル\$45まで下がり、続けて暴落しています。これは、彼の最高の武器です。



原油価格の推移

ところで、このためにイランは、今の時点で戦争になることを喜ばないのです。

彼らの懐^{ふところ}は現在空っぽなことを、彼らは理解していますから。

皆さん、我々が今目撃しているのは、狂った人間の、狂った動きではありません。

これは、両方とダンスすることは出来ないことを理解した大統領による、非常によく計算された動きです。イランに敵対して、シーア派拡大とヒズボラのペテンに対して全軍力を向けるか、もしくは、彼らの味方をするかのどちらかです。

こっちで彼らに敵対しながら、あちらでは彼らと共にいることは出来ません。

それでは、すべき事が行^{おこな}えませんが、そのためです。

ところで、イスラエルは現在、完全に怯えているわけではありません。

我々は全員、状況を理解しています。

アメリカがユーフラテス川の向こう側にいないのは、良いことではありませんが、ただ、ユーフラテス川は、イスラエルから 800 マイル (1280km) ほど離れています。そもそも、あちらにいたアメリカの顧問たちは、イスラエルを助けたことなど一度もありません。

アメリカは、まだイラクに空軍基地がありますし、アメリカはまだ、中東中の他の場所に駐留しています。アメリカは今の時点では、イスラエルを助けることに完全にコミットしています。

さて、ここで一時停止しましょう。

すでに私は、トランプ大統領の決断の舞台裏を説明しました。次に、私の見る、この決断に伴う連鎖反応を説明します。

間違いなく、ロシアは言うでしょう。

「おい。ISIS はまだ終わっていないぞ。自分たちが行って、ISIS と戦おう。」

明らかに、彼らの目的は、あちらのガスと石油を得ることです。

トルコは、どんどん近づいています。

イランは、アメリカが出るなら、自分たちが前進して入り込むチャンスだ、と感じています。

そこで、我々が見ているのは、聖書預言的にこの3ヶ国の輪が、イスラエルに向けてどんどんどんどん、きつくなる様子です。

次に、きっとトランプ大統領は彼自身にとっても、イスラエルに対しても、良いことだと思ったのでしょう。勘違いしてはいけません。ただ、いずれ起こる事として、私が預言的に見ているのは、——ところで、軍事的に攻撃、戦争が起こるのは、時間の問題であることを、我々は知っています。

我々は、ロシア、トルコ、イランの関わる中東での戦争に向けて、大きな一歩が踏み出されたのを目撃していると、私は信じています。彼らは、シリアを彼らの舞台として利用して、イスラエルに攻めて来ます。これが、私の見方です。

トランプ大統領の決断の裏にある理由を明確にしておく必要がありました。また、皆さんに理解しておいて欲しいのは、アメリカは、アメリカ国民のために、アメリカがすべき事を、行う必要があります。

トランプ大統領は、イスラエルの首相ではありません。彼は、イスラエルを再び偉大にするために選ばれたわけではありません。彼は、アメリカ国民によって、アメリカを再び偉大にするために選ばれたのです。彼にとっては、今は、国境の壁に取りかかる時、自国の安全に対応する時、メキシコとの国境に対処する時、国内問題に取り掛かる時であって、そのため、彼は、シリア東部をトルコが引き継ぎ、残りの ISIS と戦うことを全面的に認めることを望んだのです。

それは良くないこと、素敵なことにはならないこと、綺麗にはいかないことは、私たち全員が知っています。

しかし、これが中東です。それは、起こります。

私は、聖書を信じる者として、一方では、これを見てワクワクしています。また一方で、私は、このような決断の背景にあった理由を理解しています。ただ、その背景にある理由を全て知らされるまで、初めは、私は気に入りませんでしたよ？彼が、熟考しなければならなかった、全ての問題を知るまでは。そしてもちろん、結局のところ、これ自体はイスラエルにとって、悪いものではないと思います。多くの人が憤慨していて、また多くの人が、かなり驚いています。

「なぜトランプ大統領は、こんなひどいことが出来るのか！」

とかなんとか。

皆さん、理解しなければなりません。たとえ、トランプ大統領が、全アメリカ軍をシリアに派遣したとしても、エゼキエル 38 は、起こりません。間違えないようにしましょう。

預言の書に書かれた、世界の出来事は、どんな事があっても起こります。

次に、私たちが理解しておくべき、重要な事は、誰であれ、どんなことであれ、世界の指導者による決断によって「あの戦争が起こる」という事実を変えることはありません。

我々が見ているのは、アメリカの大統領がイスラエルのためにすごい事^{おこな}を行っている。ただ、無意識のうちに、出来事とものごとの行程を エゼキエル 38. 39 の成就に向けて、加速させました。

皆さん、以上です。兵士を撤退させる決断に関して、短いアップデートでした。

一夜にしてそれは起こりません。それには、まだ少し時間がかかります。

ただ、ひとつ言っておくと、ISIS は直ちに調査して、ハジンという町の三分の二を占拠する決意をしました。現在、クルド人が彼らに反撃するのをアメリカが援護していますが、アメリカにとって、これはもう済んだことで、決断は下されています。トランプ大統領は、固く決意しています。

このために、マティス国防長官と ISIS と戦うための特別調整役とが、両方とも辞任したのです。

辞任は、それほど悪いことではありません。

なぜかといえば、イスラエルが考える限り、マティスは、良いニュースではありませんでした。

彼はあの、シリアまたはレバノンで、イランの世話をし、助けるのは良い事だ、という革新的な考えに囚われていましたから。以上です。皆さん、背景をご理解いただけただけでしょうか。

私達は、ワクワクするような時代に生きています。ものすごい時代です。

皆さんには、起こっていることの正しい図、全体像を見ていただきたいと思いました。

一旦これを閉めて、4分ほどしてから、聖書の学びを始めたいと思います。

「ひとりのみどりごが、私たちのために生まれる。」です。

ありがとうございます。イスラエルのハイファより、God bless you! さようなら。

メッセージ by Amir Tsarfati/Behold Israel : <http://beholdisrael.org/>

【写真出典一覧】

空母ジョン・C・ステニス：PRESS TV “US aircraft carrier coming to Persian Gulf in show of force against Iran” Dec. 4, 2018

原油価格の推移：Nasdaq